

2021～2026年度に授業「プロフェッショナリズムⅠ～Ⅴ」

及び／又は 6年次OSCEを受けた

岡山大学医学部医学科の学生・卒業生の皆様へ

—「コロナ禍におけるプロフェッショナリズム教育の意義」研究へご協力をお願い—

研究機関名 岡山大学病院

研究責任者 岡山大学病院 ダイバーシティ推進センター 藤井智香子

1) 研究の背景および目的

医学教育におけるプロフェッショナリズム教育は重要な課題であり、全国の医学部において様々な形で医学教育カリキュラムに組み込まれています。岡山大学では2015年度からプロフェッショナリズムの授業が必修カリキュラムとして開始されました。講義、ロールプレイ、ディスカッション、医療面接実習等で構成される授業は、患者中心の医療の実践や共感性（エンパシー）の醸成を重視した内容となっています。このプロフェッショナリズムの教育効果を評価するために、これまでに授業の前後でエンパシーのアンケート調査を行っており、現在も継続中です。

2020～2021年度は、新型コロナウイルス感染症対策のため対面授業が制限され、プロフェッショナリズムの授業は全学年においてオンラインでの実施となりました。コロナ禍における授業形態の変化が学生に及ぼす影響とそのあり方は、様々な教育現場で調査・検討されていますが、プロフェッショナリズム教育における影響についてはまだ研究が行われていません。この研究は、岡山大学医学部医学科の学生を対象に、コロナ禍におけるプロフェッショナリズム教育が学生のエンパシーに与える影響について、授業評価目的のアンケートを後方視的に解析し、過去のデータと比較することで明らかにし、より効果的なプロフェッショナリズム教育のカリキュラムを検討することを目的としています。

2) 研究対象者

2021年度までに岡山大学医学部医学科に入学した学生で、2021年度から2026年度に「プロフェッショナリズムⅠ～Ⅴ」の授業を履修、及び／又は6年次OSCEを受験した学生を研究対象とします。

3) 研究期間

倫理委員会承認後～2030年3月31日

4) 研究方法

2015年以降のプロフェッショナリズム教育において、授業評価目的で実施したアンケートの回答データを研究目的で使用する倫理審査の承認は、2020年度取得データ分までは既に得ています。本研究では、2021年度から2026年度までのデータを過去データと統合し、後方視的に解析することで、コロナ禍のプロフェッショナリズム教育が医学生のエンパシーに及ぼす短期的・長期的影響を検討します。

5) 使用する情報

この研究に使用する情報として、以下の情報を使用させていただきますが、氏名などのあなたを直ちに特定できる情報は削除し使用します。また、あなたの情報などが漏洩しないようプライバシーの保護には細心の注意を払います。

- ・ 学生番号、性別
- ・ 授業で実施したエンパシーアンケートのデータ

6) 情報の保存、二次利用

この研究に使用した情報は、研究の中止または研究終了後5年間、岡山大学病院ダイバーシティ推進センター教授室内で保存させていただきます。電子情報の場合はパスワード等で制御されたコンピューターに保存し、その他の情報は施錠可能な保管庫に保存します。なお、保存した情報を用いて新たな研究を行う際は、倫理委員会にて承認を得ます。

7) 研究計画書および個人情報の開示

あなたのご希望があれば、個人情報の保護や研究の独創性の確保に支障がない範囲内で、この研究計画の資料等を閲覧または入手することができますので、お申し出ください。

また、この研究における個人情報の開示は、あなたが希望される場合にのみ行います。

この研究は氏名、学生番号などのあなたを直ちに特定できるデータをわからない形にして、研究結果を学会や論文で発表、また、岡山大学病院ダイバーシティ推進センターのホームページ等で公表しますので、ご了解ください。

この研究にご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。また、あなたの情報が研究に使用されることについて、あなたにご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申し出ください。ただし、すでにデータが解析され、学会や論文で発表段階にある場合は情報を削除できない場合がありますので、ご了承ください。この場合も授業や成績評価などにおいて学生のみなさんに不利益が生じることはありません。

<問い合わせ・連絡先>

岡山大学病院 ダイバーシティ推進センター

氏名：時信 亜希子

電話：086-235-6835（平日：9時00分～17時00分）